

第79回通津中学校卒業証書授与式

3月7日(土)、やわらかな日差しに包まれる中、令和7年度の卒業式を挙行了しました。日頃から明るく元気で、学校全体を活気づけてくれていた3年生。そんな生徒たちがこの日は、在校生と共に、凛とした姿で式に臨みました。厳粛な中にも、これまでの歩みや仲間との絆が感じられ、胸が熱くなる大変感動的な卒業式となりました。



【校長式辞より抜粋】

「ウサギとカメ」のお話でウサギがなぜカメに負けたのかと問われたら、皆さんはどのように答えますか？さまざまな答えがあると思いますが、私は「ウサギはカメを見ていたが、カメはゴールを見ていた。」という解釈に惹かれます。

大切なことは他人に勝つことではなく、自分の夢を叶えることです。ウサギのように他人と比べて、自分が本当に目指していたもの(夢)を見失うことなく、夢に向かって邁進し続ける人であってほしいと思います。

【在校生代表送辞より抜粋】

目を閉じれば、先輩方との輝かしい思い出がよみがえってきます。

体育祭では、先輩方の全力で競技に取り組み、一致団結する姿に心を打たれました。学年を越えて仲間と協力したあの時間は輝いていました。

彩虹な思い出を創り上げた文化祭。学年劇を通して、目の前の時間を大切にして、勇気を出すことが大切だと教えていただきました。

在校生を代表して心より御礼申し上げます。

【卒業生代表答辞より抜粋】

夢中で過ごした3年間で振り返ってみると、全員で創り上げた行事はもちろん、通津中学校で過ごした一日一日は、かけがえのないものになりました。

数え切れないほどの奇跡が重なって出会えた私たち。楽しいときには共に笑い、苦しいときには協力して乗り越えてきました。たとえ、この先、困難が待ち受けていたとしても、みんなと過ごした日々を胸に、一歩一歩自分の道を歩んでいきます。

卒業おめでとう



卒業生の前途に幸あれ

東沢瀉ゆかりの鯨、未来を担う中学生へ

三層楼「鯨」寄贈式



3月2日(月)、岩国市出身の陽明学者、「東沢瀉」が晩年に住んでいた「三層楼」の建物に、実際に使われていた「鯨(しゃちほこ)」を通津中学校に寄贈していただきました。

寄贈式では、寄贈者の松村様より「通津にゆかりのある偉人、東沢瀉にまつわる物を、ぜひ後生に伝えたいと思い中学校に寄贈することにした。志と学びの大切さを受け継いでほしい。」との言葉とともに鯨の目録が手渡されました。代表で受け取った生徒会長は「歴史ある鯨を寄贈していただきいたことに感謝しています。これを機会にふるさと通津の歴史に関心を深め、さらに学んでいきたいと思います。」と感謝の言葉を述べました。

いただいた鯨は正面玄関の沢瀉像の近くに展示し、生徒たちがいつでも見られるようにしています。通津中生が、先人の志に触れ、学び続ける姿勢を育んでいきかけとなればと願っています。保護者の皆様も、ご来校の際には、ぜひご覧ください。

3年生を送る会

生徒会執行部が中心となり、「3年生を送る会」を行いました。これまで学校全体を牽引してくれた3年生に感謝の気持ちをこめて、1、2年生が、学年ごとに企画を考え、準備してきました。

1年生の企画は通津中の先生方の車のタイヤや好きな四字熟語などを当てる、他にはない斬新な発想の「クイズ」でした。予想外のクイズに、会場からは歓声やどよめきが起こり、3年生も楽しそうに参加していました。

2年生からは、合唱の贈り物で、2年生が心を1つにして歌う優しい歌声が会場に広がり、3年生も静かに聞き入っていました。

生徒会企画では、3年生が中学校生活で成し遂げた様々な行事等を年表に仕上げ、これまでの3年間を振り返りながらのクイズや、思い出のムービー、そしてお世話になった先生方からのメッセージビデオ等が準備されており、「あんなこともあったね」と懐かしむ声上がり、会場が大いに盛り上がりました。

最後には、3年生から先生方へのサプライズプレゼントも用意されており、参加者全員にとって、思い出に残るひとときになりました。



3月13日(金) 避難訓練



「地震の揺れに伴い、火災が起きた」という想定で、避難訓練を実施しました。生徒たちは、避難指示を聞いて、迅速に避難することができ、消防署の方からも褒めていただきました。また、消火器の性能や基本的な使い方を学び、代表生徒による消火体験を行いました。万が一の災害のときに自分と周りの命を守るよう、今後も安全意識を高めていきたいと思います。